



1

### 1. センサーカメラ調査

目的：二ホンジカの柵内への侵入状況を監視

- 機種：Bushnell Trophy Cam HD  
動画撮影15秒・撮影間隔 1~60秒  
湿原柵沿いに4~5地点、7~9台  
\*2020年6月にKiri8追加設置  
\*2022年12月にKiri6追加設置 (Hyke Cam)
- 毎月1回カメラ確認および痕跡確認の踏査  
2011年から継続調査を実施
- 種ごとの撮影頻度指数を算出  
撮影頻度指数 R A I = (撮影回数 (回) / カメラ稼働日数 (日)) × 100 (O'Brien et al. 2003)

2

### 2. ニホンジカ侵入状況

2024年：

- ①メス2歳：2023/3/12から滞在中（～2025年12月末頃まで）
- ②メス成獣+当歳仔：2024/7/10から滞在（2025年1月下旬まで）

個体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
メス2歳	[Timeline bar from April to February]											
メス成獣				10日頃								
当歳仔												

\*カメラチェック最終日：2024/2/20

3

### 各地点における撮影日数（柵内、2024年）

**K1,2（低木林）**：撮影日数が最も多い  
➢ 毎年6月初旬に当歳仔確認。主にメスの利用場所

**K8（開放地）**：で多く撮影：6~9月に多い  
➢ ニッコウキスゲなどを採食  
➢ 柵外でも撮影が多かった

表、柵内で確認した二ホンジカの各地点における月ごとの撮影日数（2024年）

場所	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
K1,2	4	4	12		7	8	4	9	2	3	2	4	59
K3,4					2	2	1	2	2	5	1	2	17
K5,6			2	2	3	2			2	2	1		14
K7	2												2
K8	3	2		1		12	12	10	4	1	5	3	53
K9					1	1	6	1	3	5	1		18

4



7

### 2011~2024年の二ホンジカの侵入状況

表、2011~2024年に柵内に侵入したシカ

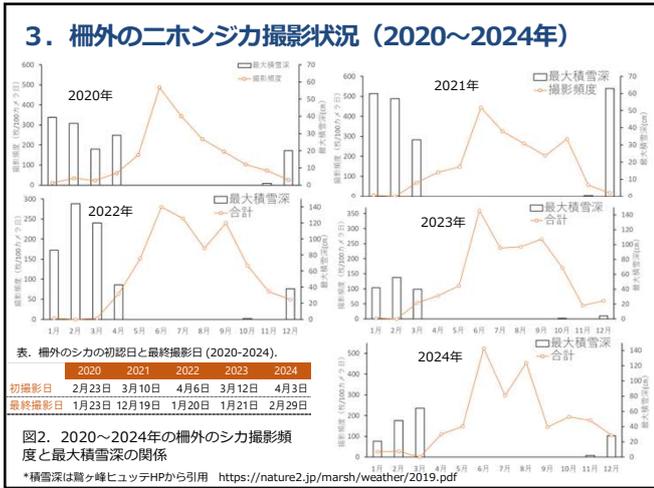
年	性別	年齢	侵入月	期間(日)	備考
1 2011	オス	1歳	6月	214	GPS追跡
2	メス	成獣	10月	278+	1隻
3	オス	1歳	10月	479+	1隻
4 2012	オス	成獣	10月?	44+	4隻
5 2013	メス	1歳	7月	198+	
6 2014	オス	0歳	4月	254+	
7	メス	成獣	5月	143+	
8	オス	1歳	5月	5+	1隻
9 2015	オス	成獣	9月	118+	
10 2016	メス	1歳	6月	196+	
11 2017	-	-	-	-	-
12 2018	メス	1歳	6月	206+	
13	オス	1歳	5月	1+	1隻
14 2019	メス	成獣	5月	240+	柵内で出産
15 2020	メス	成獣	5月	219+	柵内で出産
16 2021	メス	成獣	4月	274+	柵内で出産
17	オス	1歳	9月	126+	
18	メス	1歳?	10月	86+	
19	オス	成獣	10月	10+	4隻
20	-	0歳	10月	72+	
21 2022	メス	1歳	4月	287+	
22	メス	成獣	4月	239+	柵内で出産
23 2023	メス	1歳	3月	191+	
24 2024	メス	成獣	7月	191+	
25	メス	0歳	7月	285+	親子

① 侵入時期  
➢ 植物成長期と秋季

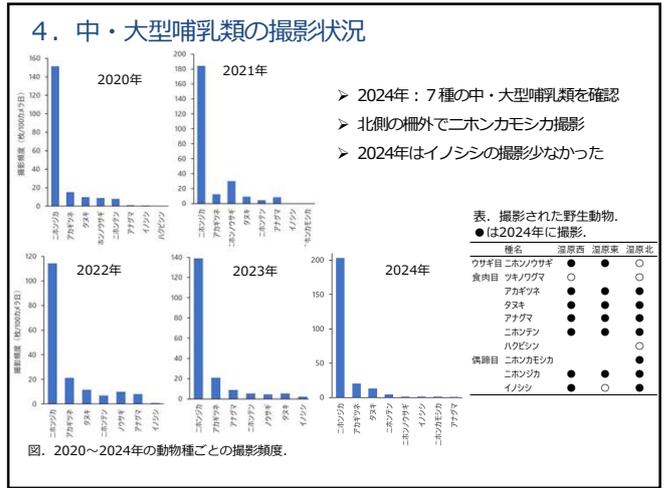
② 滞在期間  
➢ 9ヶ月以内に出る個体が多い

図、2011~2024年に侵入したシカの侵入時期と滞在期間。

8



9



10



11



12

### 5. まとめ

- 2024年：7月に侵入 親子。ゲートが閉じられていなかった？
- 2023~2024年：柵内で越冬 昨年未頃に柵外へ。
- ✓ シカの利用状況：植物成長期にあわせ利用 貴重な植物群落の保護には柵が必要。

**防護柵の維持管理の必要性**

- ・ 出入口の戸締り対策
- ・ 定期的な点検
- ・ 高さの維持

維持管理でシカを入らせない!

14